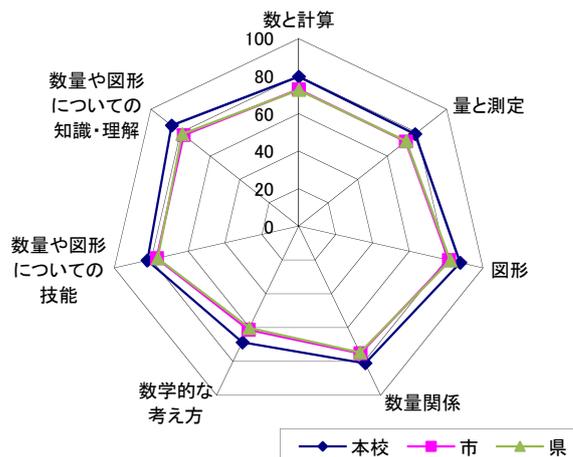


宇都宮市立今泉小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	79.7	72.9	72.6
	量と測定	78.7	72.4	72.6
	図形	87.5	81.4	82.1
	数量関係	81.1	75.2	74.6
観点	数学的な考え方	68.7	61.3	60.2
	数量や図形についての技能	82.1	77.0	76.5
	数量や図形についての知識・理解	86.0	77.8	78.8



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○本校平均正答率は県の平均を7.1ポイント、市の平均を6.8ポイント上回っている。</p> <p>○大きな数・小数・分数の基礎的な技能がよく身に付いているといえる。</p> <p>●わり算・かけ算の式の意味や場面を説明する記述式の設問では、県の平均を上回っているものの、正答率が十分であるとは言えない。</p>	<p>・学習した内容はほぼ身に付いていると思われるが、数の相対的な大きさや分数・小数のしくみ、数直線上の表し方など今後も繰り返し復習させ、さらに力を伸ばしたい。</p>
量と測定	<p>○本校の平均正答率は県の平均を6.1ポイント、市の平均6.3ポイント上回っている。</p> <p>○時刻と時間の設問では県の平均を10ポイント近く上回っている。</p> <p>●身近にあるものの重さを推察する設問では、県の平均とほぼ同じではあるが、正答率が5割を下回っている。</p>	<p>・日常生活の中で経験したことをもとに考えたり、学習したことを生活に生かしたりすることができるような場を設けたりして、意欲を高めるとともに技能についても力を伸ばしたい。</p>
図形	<p>○本校の平均正答率は県の平均を5.4ポイント、市の平均を6.1ポイント上回っており、他の領域よりも県や市と比べ高い正答率である。</p> <p>○三角形の定義についての設問では、正答率94.9%と高くよくできている。</p>	<p>・図形の学習では、具体物を用いてひとりひとりを支援しながら授業展開したことで学習内容の定着を図ることができたと考えられる。今後も現在の取り組みを継続していきたい。</p>
数量関係	<p>○本校の平均正答率は県の平均を6.5ポイント、市の平均を5.9ポイント上回っている。</p> <p>○文章問題の題意をとらえ、□を用いて図を考える設問では正答率は9割に近い。</p> <p>●□を使った式をもとに、その式に合う文章問題を選ぶ設問の正答率は、県の平均正答率を上回っているものの十分であるとは言えない。</p>	<p>・誤答に一定の傾向が見られる設問がある。今後、同じような問題に繰り返し取り組む機会を設定し、各自の誤った理解が修正されるように指導、支援していきたい。</p>